

5月23日発行

平成 29 年度

第 3 号

伊丹市立南中学校



南 中 だ よ り

若葉の鮮やかな季節になり、陽射しには初夏の訪れを感じる今日この頃です。5月8日～12日には、2年生が、トライやるウィークで地域の方々（77 事業所）のお世話になり、職場体験を通して多くのことを学んできました。社会に出るということ、働くということ、今の生活があることなどについて考える、貴重な体験となったようです。本年度は、兵庫県でトライやる・ウィークが始まって 20 年の節目を迎えました。兵庫県のどこよりも早くこの活動を実施している本校に、読売テレビから取材を受けることにもなり、伊丹市消防局東消防署、森岡楽器、伊丹市立こばと保育所の3事業所の方々をお願いして、活動している様子やインタビューの様子を撮影させてもらいました。事業所の方々には、快く趣旨をご理解いただき、生徒の皆さんのためになるのであればと全面協力いただき、心より感謝しています。2年生の皆さんには、この活動を通して出会った方々、支えてくださっている保護者の方々、実施に向けて熱心に準備、指導して下さった先生方など多く人の支えがあって実施できたことに、感謝のできる人であってほしいと思います。2年生になって、わずか1か月しか経っていませんが、凜とした行動、はきはきとしたあいさつや受け答えができるようになったのは、この行事を通しての成長の証であると思います。2年生は、中学3年間で心身ともに最も大きく成長する大切な1年間です。自分に自信をもって、いろんなことに挑戦して、自分を磨く1年にしてください。

トライやる・ウィーク スローガン

【かっ飛ばせ!!未来へつなぐホームラン～新たな夢と希望をのせて～】

トライやる・ウィーク活動冊子より感想文を紹介します

《 2年KMさん 》伊丹市立博物館

本当に5日間があつという間でした。2年生の0学期から準備してきたのが、昨日のように感じられます。博物館での体験は、思っていたよりたくさんの仕事があって、毎日違うことが経験できました。主な仕事はミニ展示作成でしたが、他にも講座のチラシ作り、折り紙製作、書籍発送作業などがありました。1日目はひたすら封筒にシールを貼って、本をつめての作業をしました。宛先を見たとき、「東京大学」や「関西大学」「立命館大学」などの名前が入っていて最初は驚きました。「こんな重要なところに送るのに、自分たちがやっても大丈夫なんだろうか?」とも思いました。でも、「自分たちは”社会人”としてここに来たんだと思直し、そういう対応をしてもらったのが、とてもうれしく感じられました。それに、「”社会人”として信頼されているのであれば、その信頼に応えなければ。」と、とても責任感を感じることができました。その責任感は、その後にも度々感じるようになりました。今回、私は「歴史が好きだから、将来はその関係の仕事に就きたい。」と思い博物館を希望しました。ですが、1週間前までの自分は、勢いで将来を考えてしまっていたところが少々あるかもしれないと、将来を見つめるいいきっかけになったと思います。それでも、「歴史関係の仕事に就きたい。」という思いは強くなりました。最高の機会をくださった、学校と博物館の方々に最上級の感謝を!!

《 2年FRさん 》伊丹昆陽イオン ムラサキスポーツ

このトライやる・ウィークは、社会に出たときのことを、事業所の方からたくさん学びました。今回お世話になった事業所は、商品の販売を主な仕事とするところでした。普段、欲しいものや必要なものを店に買いに行くときは、楽な気持ちで行きますが、立場が逆転すると、気持ちも逆転しました。商品を販売する側の立場は、少しでもお客様の役に立てよう必死でサポートしたり、お客様を待たせないような努力をしていることがわかりました。焦る立場と楽な立場、両方経験できたことで、将来働くときに役に立つと思います。事業所の方が、勉強も部活も、人間関係も……。今やってることは、全て将来の練習とおっしゃっていたので、これからの学校生活、全て練習だと思って失敗を恐れずやっていきたいです。このトライやる・ウィークで学んだことは、将来必ず役立つと思うので、思い出しながら仕事していきたいです。

《 2年NHさん 》伊丹シティホテル

この5日間は、本当に貴重な体験ができました。その中でも僕が一番印象に残ったことは、5日目のベットメイクです。ベットメイクは、想像以上に大変で、暑かったです。ですが、楽しさもあり、終わったときは達成感がありました。もう一つ印象に残ったことは、4日目の「ミナレット」での、お客様へのサービスです。僕はお客様にデザートがのっているお皿を届けるということをやったのですが、それだけでも、すごく緊張しました。そして、終わった後に、担当の松本さんがアドバイスをしてくださいました。今度こういう機会があれば、このアドバイスを生かせたらと思いました。ホテルというところは、お客様のことをすごく考えているところだなと思いました。ここまでするのかと、びっくりすることが多々ありました。来てくださったお客様に、満足して頂きたいという思いが、よく伝わりました。僕もこんな人になれたらと思いました。そのためには、まず、小さな気遣いが大切と思いました。このことを頭の片隅に置いて、日々生活していけるように頑張っていきます。

【活動を終えて・保護者の方より】

・中学2年生で、仕事を体験させて頂くという貴重な機会を、これからの人生にいかしていったほしいと思います。お忙しい中、時間を割いてご指導くださいました事業所の方々に感謝して、教わったことを忘れずに数年後に立派な社会人になってくれると信じています。

・「好き」ということでこの事業所を希望したようですが、実際の仕事にふれてみて、より興味がわいたのではないかと思います。中学生の時にこのような職業体験ができ、うらやましいです。これからも、たくさん勉強して、いろいろな経験を積んでいったほしいと思います。

・今回、事業所の方にお世話になって学んだ事。立場が変われば、見えてくる事もたくさんあります。社会に出れば、学校のような定期テストはありません。でも、社会人は、毎日がテストです。今回のような所であれば、どうすればお客様のおもいに応えられるか、毎日考え、お客様に接しなければなりません。1週間感じた事を忘れず、色んな場面で生かしてください。

【 読売テレビ放送予定 】

y t v ドキュメント（関西ローカル）

「少年A～神戸児童連続殺傷事件 被害者と加害者の20年」

2017年5月24日（水）深夜25時39分～26時42分（エンド3分間ほどです。）